

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、19～25℃台を示し、平年並みでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり4トンの水揚げで、前週の67%（前年を下回った）。五島奈留地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり5トンの水揚げ（前年を上回った）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり6トンの水揚げで、前週の35%（前年を下回った）。
- イカ釣――ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり13kgの水揚げで、前週の34%（前年を下回った）。
- 定置網――対馬西岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり257kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり104kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり310kgの水揚げで、前週の65%（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（11/5～11/10の6日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、八戸～岩手県久慈～宮古沖で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、対馬及び山陰沖で僅か水揚げあり。

鳥取県西部（沖合船）は、3日延9隻、総計127箱、1航海最高27箱、平均14.1箱。

ケンサキイカ（2～3立）を漁獲。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>